

M M 震度階

出典：宮村攝三編，地震・火山・岩石物性（共立出版），1976

嶋悦三，わかりやすい地震学，鹿島出版会，1989

参考：宇津徳治，地震学（共立出版），1984

Modified Mercalli Scale, Wood & Neumann (1931)		
階級	説 明 (gal)	
無感覚	地震計にのみ感じる地震.	0.5 以下
I	特に感じやすい状態にあるごく少数の人に感じる.	0.5~1.0
II	ビルの上層に静止しているような小数にのみ感じる. 動きやすくつくられた物体はゆらぐ.	1.0~2.1
III	特にビルの上層の屋内で著しく感じられ, 止まっている自動車がわずかにゆらぐが多くのものは地震とは思わない.	2.1~5.0
IV	日中屋内の多数の人に感じ, 皿, 窓ガラス, 扉などがゆれ, 止まっている自動車はかなりゆらぐ.	5.0~10.0
V	ほとんど全部の人に感じ, 多くの方は目がさめる. すわりの悪いものは倒れ, 振り時計が止まる.	10.0~21.0
VI	すべての人に感じ, 多くの方は驚いて戸外に飛び出す.	21.0~44.0
VII	ほとんどすべての人が戸外に飛び出し, すわりの悪いものや, 設計のよくないものにはかなりの損害がある.	44.0~94.0
VIII	堅ろうな建物にもかなりの損害があり, 煙突, 記念碑, 壁などが墜落し, 家具が転倒する. また砂泥などを多少噴き出し, 井戸水に変化がある.	94.0~202.0
IX	堅ろうな建物にも損害があり, 一部つぶれ, 地面に亀裂が著しく現れる.	202.0~432.0
X	石工物の大部分破壊, 地面に亀裂多大. 鉄道線路の湾曲.	432 以上
XI	残存建物少なく, 橋梁破損, 大亀裂.	
XII	あらゆるものが破壊, 地表に波形が見られ, あらゆるものは空中に投げ出される.	